

Healthy Shine Lilac

ヘルシー シャイン ライラック

For renewed balance and shine

NÆOLYS
NATURE EXPANDED



Healthy Shine Lilac

For renewed balance and shine

ストーリー

19世紀の貴重な面影を残す、香り高い花

学名である“syringe”は‘筒状の’という意味で、ライラックの茎が中空構造を持つ事に因みます。樹高は2から5メートルと低木ですが、40年ほど寿命があります。

元々は東～南ヨーロッパ原産の木で、16世紀にイタリアに持ち込まれました。

19世紀にはその香りと、白または紫色の花が園芸用途として大変好まれ、家庭の庭で栽培されていました。

Victor Lemoine は著名なライラックの栽培者で、いくつもの品種を新しく造り出しました。医療用途としては強壮作用と、葉の持つ解毒作用が知られています。現在は古代の愛と豊穡のシンボルとして、家の中に彩りを添える役割として使われています。

Key points

アクティブプラントセル
有効成分を肌の奥へデリバリー

ハイテク天然原料
天然成分の特徴を最大限に引き出した素材

バランスのとれた機能
ダメージを修復し、健康な髪を取り戻す。

なぜなら、髪の毛は常時たくさんの
因子 (UVB, ストレス, 汚染物質) にさらされてダメージを受け痛みます。
そういったダメージを修復し、健康で、
ツヤのある髪の毛を生み出します。



マーケティングポイント

髪の毛の健康

傷んだ髪の毛を修復しツヤを取り戻す。
髪の毛のキューティクルを整えて、元々の保護力を高めます。

鎮静作用
頭皮や毛穴の不快感を軽減します。

ヘアマスク、トニック、シャンプー、リンスなど、インバス、アウトバスの製品に使用できます。

細胞賦活作用
毛母細胞に活力を与えます。

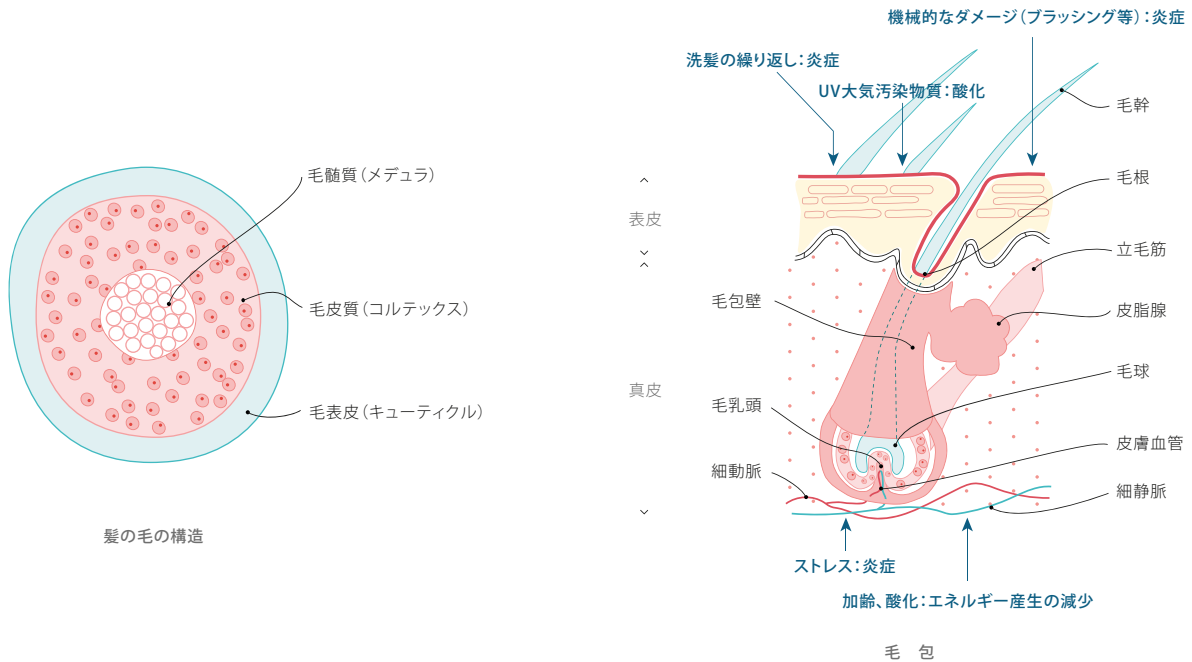
保護作用 (抗酸化作用)
UVBによるフリーラジカルの生成を抑え、地肌のダメージを軽減します。

Related products (for scalp only): BALANCING ENERGY ASIAN GINSENG | FRAGILE COTTON | PURIFY WHITE WATER LILY

どのような働き？

Healthy Shine Lilac：生体バランスを回復させる。

日々の生活の中で、様々な原因で髪の毛はダメージを受け、パサついたツヤのない傷んだ髪の毛になります。今日、私たちはそれが毛のキューティクルと毛幹のダメージによるものということを理解しています。加齢によって毛根のエネルギー産生が落ち、酸化されやすくなります。ヘアカラーや乾燥、洗髪、ブラッシングなどの機械的ダメージの蓄積によって、髪と頭皮は炎症と酸化を引き起こします。そしてまた、日照や大気汚染物質によって髪の毛の酸化は加速します。



毛包中心部に対する複合的な働き

頭皮や毛髪に対するこれらの有害な作用に抵抗するために、私たちは健康な毛髪を取り戻すための、修復的と保護的な美容成分を提案します。

Healthy Shine Lilacは髪の毛に対して多機能性を持ち、髪の毛、毛根、頭皮の全てに作用します。

髪の毛の根元から調節

毛根は髪の毛の生きている部分で真皮に存在します。頭皮に斜めに埋め込まれていて、小さな袋状の毛包に包まれています。根元には毛球と毛母基、その下の隙間には毛乳頭があり、栄養を運ぶ血管や神経がたくさん繋がっています。環境や内因性のストレスはこの部分と頭皮表面はつきりと影響を及ぼします。

毛球と表皮のレベルで

Healthy Shine Lilacは毛球と頭皮の炎症を抑えます。

Healthy Shine Lilacは毛球の酸化を抑えます。

Healthy Shine Lilacは毛球のエネルギー産生を強化します。

毛幹とキューティクルを修復

毛幹はとても強い繊維状の組織で、毛母細胞がケラチンを溜め込みながら分裂して上に伸びたものです。毛の構造は3つの筒が重なった構造をしています。中心部はメデュラと呼ばれる管が通り、その外側にはメラニン色素を含むコルテックスの厚い層があります。最も外側には、キューティクルが存在し、死細胞から作るうろこ状の層が不浸透性の保護膜となって髪を守ります。この外側の層は日々機械的なダメージを受けます。

毛幹のレベルで

Healthy Shine Lilacは毛幹を修復し、ツヤツヤにします。

Healthy Shine Lilacの修復・鎮静・保護・強化機能により、健全でツヤのある髪の毛を取り戻し、環境や内部に起因する更なるダメージからの保護効果が持続します。

臨床データ

28日間で毛髪が修復し
ツヤを取り戻します。

使用濃度：0.5%

被験者の使用感

90%の被験者が髪のツヤの改善を実感

80%の被験者が髪のダメージの軽減を実感

IN VITRO データ

毛球の状態を調節

使用濃度：0.5%

細胞賦活作用

細胞及びミトコンドリアのレベルでATP産生が上昇したことからエネルギー代謝が増強した。

鎮静作用

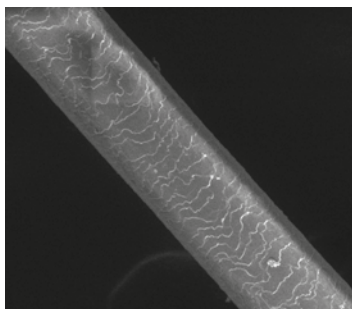
IL-1 α (-25%), IL-6 (-22%), PGE2 (-20%) などの炎症性メディエーターの放出を抑制した。頭皮同様にIL-1 α (-28%), IL-6 (-24%), PGE2 (-23%) の放出抑制が見られた。

抗酸化作用

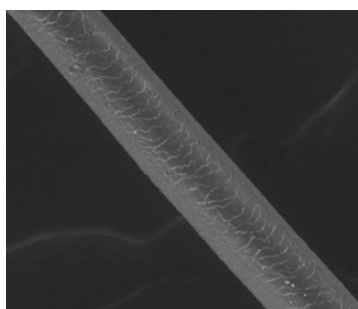
細胞外のマロンジアルデヒドの生成を通常状態で25%、UVBで産生刺激した状態で20% 削減した。

臨床データ

28日後の髪の毛の状態改善



0日目



28日後

28日後のツヤの改善

実験条件:

- 20~45歳の黒い毛を持つ女性被験者20名を対象に28日間連用
- 1日1回、頭皮と髪の毛に使用
- Healthy Shine Lilacを0.5%入れた乳液を試験サンプルとして使用

Technical information on the formulation of Healthy Shine Lilac

INCI/表示名称
SYRINGA VULGARIS LEAF CELL EXTRACT
ライラック葉細胞エキス

性状
細胞粉末または20%グリセリン溶液

推奨使用量
0.1% (粉末)、0.5% (液体)

溶解性
不溶、水、油に分散

In vitro 試験結果

毛髪の根元から修復

毛球

Healthy Shine Lilacは髪の根元から表面に至るまで全ての部位に効果的です。毛根と頭皮について、予防と修復の観点から、健康な髪を守るために重要なファクターである細胞の代謝および炎症と酸化の調節の機能に着目しました。

毛球は毛根と毛包を含んだ広い部分を指します。毛球の底には真皮乳頭があり、毛細血管が膜胚中の細胞に盛んな細胞分裂を促すため、栄養と酸素を運び込んでいます。毛包の底では、細胞分裂に

よって出来た細胞が新たにできる細胞に押されて徐々に上に伸びていきます。細胞が毛包中を上昇していくにつれて、毛包の壁によって押しつぶされて、縦長で、うろこ状のキューティクルを形成します。皮質は毛乳頭の上に存在し、毛包に沿って次第に細くなるように形状を変化させます。毛包の中にはケラチノサイトから分化したメラノサイトが存在し、メラニンを産生しています。また、細胞の老廃物はこの部分によって排出されます。

毛球に対して

→ エネルギー

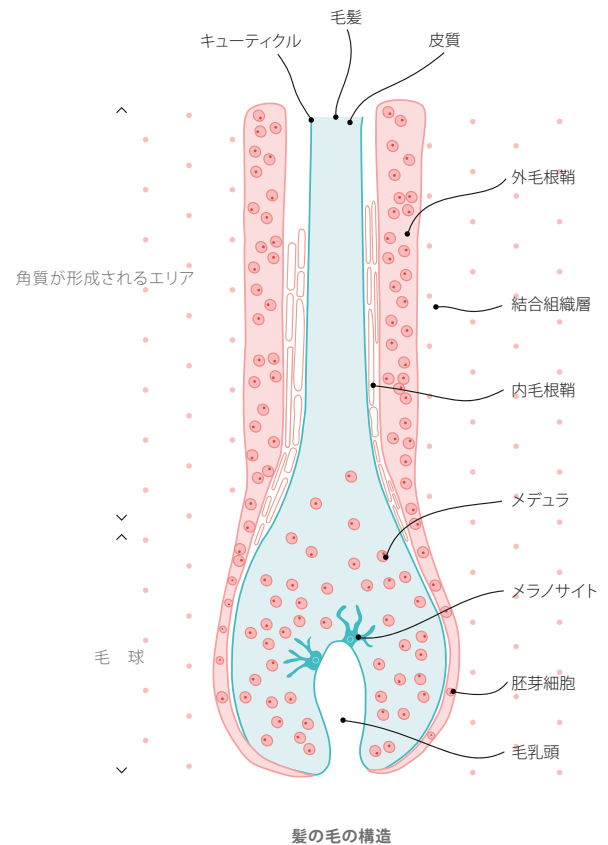
発毛および健康な毛髪の伸長と細胞の老廃物の排出にはエネルギーが必要です。私たちはATP産生を介した細胞の呼吸機能と酸素消費によって、エネルギー代謝機能を評価しました。

→ 炎症

ブラッシングなどの機械的な刺激や化学物質によって引き起こされる炎症を抑える事は、毛包、頭皮、毛根の成長を促します。これらを評価するために炎症性メディエーターであるIL-1 α 、IL-6、PGE2を評価しました。

→ 酸化

最後に我々は、物理的な脂質過酸化の指標であるMDA(マロンジアルデヒド)の産生について検討しました。通常、細胞外のフリーラジカルの産生は様々な防御メカニズムによって制御されています。しかし、日照や化学物質(カラーリング剤も含めて)などによって過度のフリーラジカルが産生し、激しい炎症を引き起こして毛髪に影響を及ぼします。



髪の毛の構造

エネルギー代謝の検討

表皮に存在する水の2種類のタイプ

培養角化細胞に対してHealthy Shine Lilac を0.5%添加すると右記の効果が見られた。

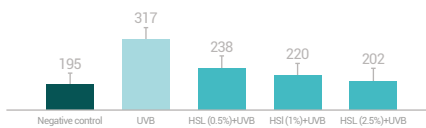
- 細胞およびミトコンドリアの呼吸速度が上昇
- 細胞およびミトコンドリアのATP産生が上昇
- 5日後のATP,ADP産生が上昇

炎症性メディエーターの産生

毛球および頭皮内で

毛球において

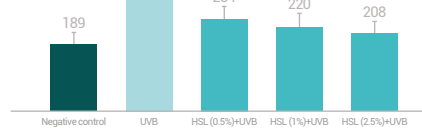
IL1-ALPHA (pg/ml)



IL-1αの抑制

→ UVBによって刺激されたIL-1α産生を、それぞれ25%,31%,36%抑制した。

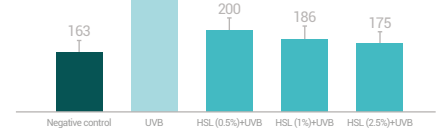
IL-6 (pg/ml)



IL-6の抑制

→ UVBによって刺激されたIL-6産生を、それぞれ22%,27%,31%抑制した。

PGE2 (pg/ml)

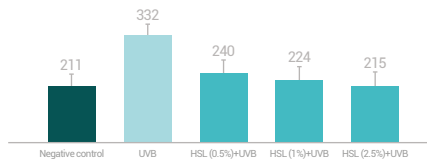


PGEの抑制

→ UVBによって刺激されたPGE産生を、それぞれ20%,26%,30%抑制した。

頭皮において

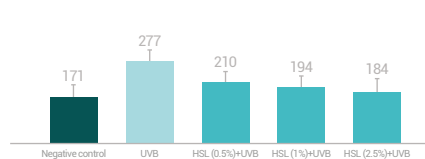
IL1-ALPHA (pg/ml)



IL-1αの抑制

→ UVBによって刺激されたIL-1α産生を、それぞれ28%,33%,35%抑制した。

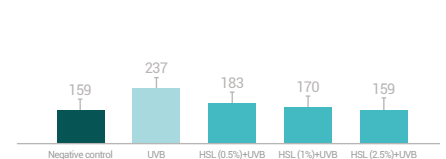
IL-6 (pg/ml)



IL-6の抑制

→ UVBによって刺激されたIL-6産生を、それぞれ24%,30%,34%抑制した。

PGE2 (pg/ml)



PGEの抑制

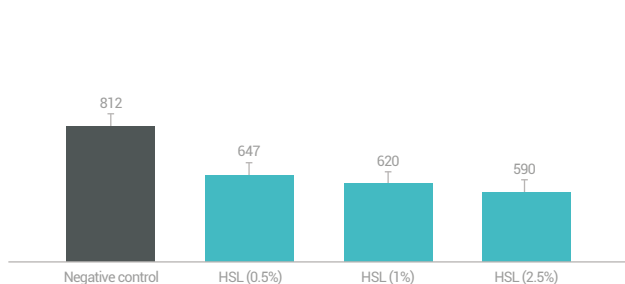
→ UVBによって刺激されたPGE産生を、それぞれ23%,28%,33%抑制した。

脂質酸化の検討

毛球において

生理学的な条件での脂質酸化

MDA (μM/mg of proteins)

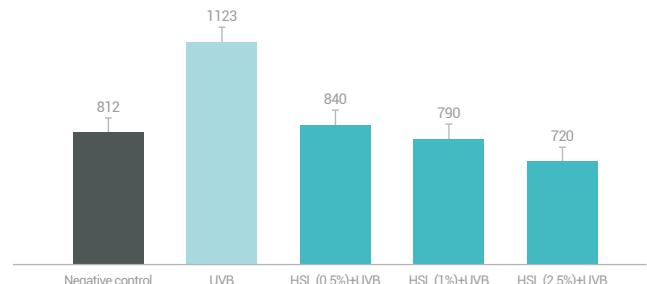


MDA量の抑制

→ 0.5%, 1.0%, 2.5%の濃度でMDAの放出を20%, 24%, 27%抑制しました。

UVBによって惹起された脂質酸化

MDA (μM/mg of proteins)



MDA量の抑制

→ 0.5%, 1.0%, 2.5%の濃度でMDAの放出を25%, 30%, 36%抑制しました。

© 2014 NAOLYS
naolys.com

お問い合わせ：jpcontact@naolys.jp
日本語サイト：www.naolys.jp